

平成24年11月28日

各 位

いちごグループホールディングス株式会社

代 表 者 代表執行役会長 スコット キャロン  
(コード番号2337 大証JASDAQ)

問合せ先 執行役副社長 管理本部長 石原 実  
(電話番号 03-3502-4818)

## いちごECO エナジーの事業開始に関するお知らせ

当社は、「ECO」関連の新規事業の開始を目的として、当社100%出資の連結子会社となるいちごECO エナジー株式会社（以下、「いちごECO エナジー」という。）を本日付で設立することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日付で開示いたしました「ソーラーウェイ株式会社の全株式取得（子会社化）に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は、メガソーラー事業（大規模太陽光発電による電気の供給、売電等）を広く全国において計画するベンチャー企業であるソーラーウェイ株式会社（以下、「ソーラーウェイ社」という。）の全株式を取得することを本日付で決定し、株式譲渡契約を締結いたしました。将来的にソーラーウェイ社は、いちごECO エナジーの100%子会社とする予定です。本件株式取得に際し、ソーラーウェイ社のメガソーラー案件（再生可能エネルギー発電設備認定案件および事前相談結果通知案件の合計約30件、約35MW）につきましては、同社がいちごグループに参画することに伴い、いちごグループにて引き続き遂行してまいります。

### 記

#### 1. いちごECO エナジーの事業開始の目的

いちごグループは、2012年2月期までに財務基盤および収益基盤の強化を達成し、今後、総合不動産運用グループとしてさらなる飛躍的な成長を目指しており、今後のグループの成長においては、社会の一員として、サステナブル（持続可能）な社会形成への貢献が不可欠であると考えております。

いちごグループでは、本件新規事業の開始に際し、いちごECO エナジーを設立し、ソーラーウェイ社が展開するメガソーラー事業を主軸とし、今後、物件のECO化、またそのコンサルティング、LEDの設置推進、LED装飾による物件バリューアップ等、広く「ECO」関連の事業を推進してまいります。

主軸となるメガソーラー事業においては、ソーラーウェイ社がこれまで展開してきたメガソーラー案件を事業推進のプラットフォームとし、いちごグループの信用力と資金力を活用し、早期事業化するとともに、将来的には金融技術を活用し開発型太陽光発電ファンドとして、インフラファンドの組成等も目指してまいります。

いちごグループでは、本件新規事業は社会的ニーズの高まりを背景に、今後、いちごグループの「成長エンジン」となるものと考えております。また、いちごグループがこれまで培ってきた各種技術やノウハウを最大限に活用することにより、本業を通じた社会的意義のある事業展開も可能となります。コア事業である不動産運用事業においても、省電力化等の「ECO」に対する取り組みを強化し、得意とする中規模ビルを中心に社会資本のインフラ整備として、環境に配慮した不動産へのバリューアップ等を実施し、社会的意義のある事業展開を積極的に推進してまいります。

## 2. 新会社の概要

① 商号	いちごECO エナジー株式会社
② 所在地	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
③ 役員	取締役会長 岩崎 謙治 代表取締役社長 五島 英一郎 取締役副社長 石原 実 取締役 池田 浩 社外監査役 田中 賢一
④ 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギー等による発電および電気の供給</li> <li>・環境保全に関するエンジニアリング、コンサルティングおよび技術、ノウハウ、情報の提供</li> <li>・その他 LED 導入のコンサルティング等</li> </ul>
⑤ 資本金	25 百万円
⑥ 設立年月日	2012 年 11 月 28 日
⑦ 決算期	2 月
⑧ 大株主・持株比率	いちごグループホールディングス株式会社 100%

## 3. 今後の見通し

本件新規事業における各案件の事業化に一定の時間を要することから、2013 年 2 月期の当社連結業績に与える影響は軽微となります。

2014 年 2 月期以降の当社連結業績に与える影響については精査中であり、今後、メガソーラー事業の進展等を勘案し、2014 年 2 月期連結業績予想に織り込んでまいります。

いちごグループでは、総合不動産運用グループとして、いちごグループが継続的な成長を遂げていく上で、本件新規事業は不可欠な事業であると考えており、昨今の社会的要請に鑑みても、今後、事業機会の拡大は十分に想定され、さらなる新たな収益機会の獲得が可能であると認識しております。

以 上

(注) 本資料に掲載されている将来に関する記述は、当社及び当社グループが発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。よって、実際の業績は様々な要因につき、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となりえることをご承知ください。